

子どものための、初めての スポーツ体験イベント

実施背景

「初めてのスポーツ体験イベント」を副題とする同事業では、複数のスポーツを体験することを目的とした機会を大学と地域で体系的に創出し、子どものスポーツ習慣化に寄与する機会提供を、大学の所在地である名古屋市名東区(14歳以下人口比が高い)において行った。

目的(地域課題の解決など)

スポーツ庁による「体力・運動能力調査」では、成人のスポーツ習慣と、小学生時に運動を楽しんでいたことには強い相関が認められている。しかしコロナ禍によって子どもがスポーツに興味を持つ初めてのスポーツ体験の機会がさらに減っていることが社会的な課題となっている。本事業はスポーツ体験の機会創出により、この社会課題に取り組んだ。

取り組んだ具体的な施策

職域からの運動・スポーツ実践モデル事業

同事業は、3つの小学校学区において小学生とその保護者を対象に「スポーツチャレンジフェスティバル」を実施した。プログラムは、子どもにスポーツに興味を持たせる

(無関心期から関心期への移行)、およびスポーツをしたと思わせる(関心期から準備期への移行)のために、遊びの要素を採り入れた方法で提供された。



また、同プログラムに子どもを連れていく親にとってもスポーツ・健康への関心を惹く内容にする工夫を行うとともに、子どもおよび自身のスポーツに関する状況を調査した。

実施に際しては、経験者の学生・インストラクターによる見本や指導を行うほか、新型コロナウイルス感染予防対策として、地域により午前・午後の2回に分けて開催した。告知に関しては、それぞれの小学校にてチラシを配付し、同時にアンケートも依頼している。準備段階では、地域の方々や学生を含め運営委員会を開催し、当日の段取りや役割分担を行った。

藤が丘小学校学区では令和4年10月16日に実施され、児童・保護者計324名が参加した。実施種目は多岐に渡り、30mダッシュ(初速・中速・終速計測)、モルック、スラックライン、ストラックアウト、バッティングチャレンジなどを行った。骨密度・脳年齢等の大人向けの計測も含め、15種目を実施した。

極楽小学校学区では令和4年11月20日に実施され、児童・保護者計193名が参加した。雨予報のため屋内での実施とし、ゴールボール、スイングスピード測定、ナインゴール、シャッフルボード、カローリングなどのほか、骨密度・脳年齢等の大人向けの計測も含め、12種目を実施した。

平和が丘小学校学区では、令和4年12月11日に実施され、児童・保護者計172名が参加した。寒さ対策で屋内を中心とした実施とし、30mダッシュ(初速・中速・終速計測)、モルック、スラックライン、フライングディスク、ドッジボール、サッカーチャレンジなどのほか、大人向けの計測も含め14種目を実施した。また、サッカー・ドッジボール・スラックラインでは、学生やインストラクターによるデモンストレーションも行った。

イベント実施後には専門委員会(当年度事業総括・次年度取り組み、中期展望)、及び地域専門委員会(当年度事業総括・次年度取り組み)を開催し、意見交換を実施することで今後の運営に活かしている。

結果と今後の展望

アンケート結果により、参加者の95%が同事業を高く評価している。理由としては、誰もが・親子で楽しめる多様な種目があることや、地域・学生スタッフの円滑な対応が挙げられる。課題としては、人気種目への滞留等が挙げられる。今後の展開は、地域特性を踏まえつつ、区内拡大を予定しているほか、中長期的には、「スポーツ・健康×まちづくり」の観点で、地域課題を解決し、大学の教育・研究・社会貢献の使命を果たしていきたいとする。

協力・連携団体

- ・名古屋市 ・名古屋市教育委員会
- ・名古屋市名東区
- ・名古屋市名東区体育協会
- ・名古屋市名東区
スポーツ推進委員連絡協議会
- ・公益財団法人愛知県スポーツ協会
- ・名古屋市名東区小中学校校長会
- ・名古屋市名東区小中学校PTA協議会
- ・名古屋市名東区区政協力委員協議会
- ・藤が丘学区連絡協議会
- ・極楽学区連絡協議会
- ・平和が丘学区連絡協議会



担当者の声など詳細は
事業MOVIEをチェック!